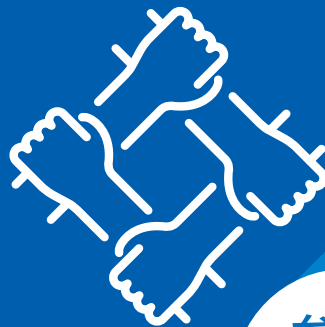


誰もが生きがいを持ち、 活躍する地域へ

人生100年時代のエイジレス社会とは

今後ますます高齢化の進展が見込まれる日本。
人生100年時代といわれる中で、若者からシニアまで活躍できる社会を
皆でつくることを目指し、地域社会や民間団体、行政等が取り組めることについて、
共に考えていきましょう。



参加
無料

平成30年度

高齢社会フォーラム in 東京

日時 平成31年 1月22日(火)
10:30~15:15 (10:00開場)

会場 イノカンファレンスセンター 4F
定員/200名

PROGRAM

- 10:00 受付・開場
- 10:30 開会挨拶 (内閣府)
- 10:40 基調講演
- 11:30 高齢社会対策説明 (内閣府)
- 11:40 休憩 (50分)
- 12:30 分科会

豊かな長寿社会を将来世代に

清家 篤 日本私立学校振興・共済事業団理事長
慶應義塾学事顧問

PROFILE/

日本私立学校振興・共済事業団理事長、慶應義塾学事顧問、慶應義塾大学客員教授。博士(商学)。専攻は労働経済学。慶應義塾大学商学部教授、商学部長、慶應義塾長を歴任。これまでに社会保障制度改革国民会議会長、日本私立大学連盟会長、日本労務学会会長、高齢社会対策の基本的在り方等に関する検討委員会座長など務める。現在、経済社会総合研究所名誉所長、社会保障制度改革推進会議議長、ILO仕事の未来世界委員会委員などを兼務。主な著書に『雇用再生』NHKブックス、『高齢者就業の経済学』(共著)日本経済新聞社(第48回日経・経済図書文化賞受賞)、『生涯現役社会の条件』中公新書など。フランス政府よりレジオン・ドヌール勲章シュヴァリエを受章。



第1 分科会 人生100年時代、いつでも どこでもチャレンジ



■コーディネーター

沖藤 典子

NPO法人高齢社会をよくなる女性
の会 副理事長

人生100年時代。80歳を過ぎても、いきいきと活動し、まさにエイジレス時代の先頭を走っている三人の好事例を発表します。

■パネリスト

時田 純/ 社会福祉法人
小田原福祉会潤生園理事長

小田原市の特別養護老人ホーム「潤生園」園長、最期まで口から食べて天寿を全うしようと日本で初めて「介護食」を研究開発し、高齢者の福祉・介護については第一人者に数えられる。

富安 兆子/ 高齢社会をよくなる
北九州女性の会代表

高齢社会をよくなる北九州女性の会代表ほか、配食事業、グランパグランマ(地域の子育て事業)など多岐に亘る活動家。

青森 千枝美/ 「伊豆・松崎・であい村 蔵ら」
代表理事

「蔵ら」は、高齢者手作りの小物の販売や軽食の提供、カルチャー教室等を行いながら、高齢者の働き場作り、気軽に入れる居場所作りに取り組んでいる。

第2 分科会 海外からみた 日本の高齢社会



■コーディネーター

松田 智生

株式会社三菱総合研究所
プラチナ社会センター主席研究員

世界で一番高齢化が進んでいる日本に、世界の多くの国が注目しています。各国の専門家から、日本の高齢社会の良い点と課題、自国との比較を報告し、目指すべき高齢社会を討議します。

■パネリスト

※すべて日本語で行います。

メリッサ猪岡(オーストラリア)

オーストラリア・クィーンズランド州政府駐日事務所の商務官として州企業と日本企業のビジネスマッチング等を担当。クィーンズランド州・日本の関係強化に貢献。

デウィプトリ・トレスナニングルム
(インドネシア)

インドネシアのトリサクティ大学法学部国際法学専攻を修了。ジャカルタで日本企業に勤務後、大阪大学大学院国際公共政策研究科比較公共政策専攻を修了。三菱総合研究所では、街づくり、観光振興に関する調査・研究に従事。

第3 分科会 通い続けられる、通い続け たい「通いの場」とは？



■コーディネーター

澤岡 詩野

公益財団法人ダイア高齢社会研究
財団研究部主任研究員 工学博士

長くなる高齢期を考えるうえで、今まで通い慣れた場に「通い続けられる」事が重要といえます。これを可能にする場創りの在り方を、先駆的な取り組みから考えます。

■パネリスト

瀧澤 由紀/ 横浜市「元気づくりステーション事業」
磯子区「ふくろう会」担当保健師

保健師が立ち上げ、活動継続のための支援を実施。健康づくりをテーマにした住民主体の通いの場。地域特性や参加者の特性により多様なステーションがつけられている。

田口 礼子/ 社会医療法人財団仁医会 牧田総合
病院 「おおもり語らいの駅」看護師

多世代、地域全体を丸ごと巻き込む場として、カフェスペースを備えた集いの場を開設。小学生、子育てママから高齢者までが集い、ゆるやかな支え合いが生まれる場となっている。

瑠璃川 正子/ 杉並区荻窪地域の集いの場
「百人力サロン」代表

地域で豊かに歳を重ねる為の百のつながりが生まれる場として、自宅も入る集合住宅のスペースを「百人力サロン」とし、地域内外の人と様々な集いの場を開催。

15:15 閉会

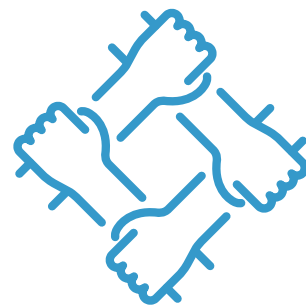
主催 / 内閣府 後援 / 文部科学省、厚生労働省

裏面の申込書にてお申し込みください

参加申込書

平成30年度

高齢社会フォーラム in 東京



平成30年度 高齢社会フォーラム in 東京に参加希望の方は、
WEBサイト、FAXまたは郵送にて下記宛先までお申し込みください。

本フォーラムは、全日参加を原則としております。

受付確認後に「参加証」を発送いたします。

※応募は先着順とし、定員になり次第締切いたします。

お申し込み方法

WEB

下記URLよりお申し込みください。

<https://form.os7.biz/f/f65b2e9d/>



FAX

下記申し込み欄にご記入の上、送信してください。

03-3597-0171

郵送

下記申し込み欄にご記入の上、次の宛先に郵送してください。

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-7
日比谷U-1ビル19階

平成30年度 高齢社会フォーラム事務局(MC&P内)



イイノカンファレンスセンター 4F

東京都千代田区内幸町2-1-1 飯野ビルディング4階

- 東京メトロ日比谷線・千代田線：霞ヶ関駅 C3出口／徒歩1分
- 東京メトロ丸ノ内線：霞ヶ関駅 B2出口／徒歩5分
- 東京メトロ銀座線：虎ノ門駅 9番出口／徒歩3分
- JR山手線・京浜東北線・東海道線・横須賀線
都営地下鉄浅草線・ゆりかもめ：新橋駅／徒歩10分
- 都営地下鉄三田線：内幸町駅 A7出口／徒歩3分

参加者氏名	ふりがな	年齢 歳
所属団体名 学校名	所属部署・役職	
電話番号	FAX番号	
Eメール		
参加証 送付先住所	〒	
希望分科会	※第二希望までご記入ください [第一希望] 分科会 [第二希望] 分科会	
これまで「高齢社会フォーラム」に参加したことがありますか？ ☐ ある()回 ☐ ない		
「高齢社会」について、疑問に思っていることや伝えたいことなどを自由にお書きください。		
手話通訳は必要ですか	☐ 1. 必要である ☐ 2. 必要でない	要約筆記は必要ですか ☐ 1. 必要である ☐ 2. 必要でない
※個人情報は本フォーラム以外の目的では使用いたしません。		
お問い合わせ	平成30年度 高齢社会フォーラム事務局 (土日祝を除く、平日9時～18時) TEL. 03-3597-0173 FAX. 03-3597-0171 E-mail. koureisyakai@mcp.co.jp	